

2008 年度

科目名 通訳入門	対象学科・学年 文学部英米3回生	担当者 山本 美津子
授業テーマ 日本語・英語を駆使して、いかに言語を相互に的確に操作出来るか		
授業の概要と目標 理想的目標としては、英語を英語として理解出来る言語回路を確立することであり、また、出来るだけ素早く日英の言語回路をスイッチ出来ることである。しかし、その達成にはかなりの時間と訓練が必要となる。そこでこの授業では、少しでも、その目標に近づく努力をすべく、語彙力やリスニング力などの養成、また集中力や記憶力を強める事も意識した上での運用能力を高める為の多くの口頭練習を行う。		
評価方法 毎回のクイズ、授業への積極的な参加度、そして試験などの総合評価。特に平常点を重視する。 (注) 日本語も英語もコミュニケーションの為の大切な言葉です。クラス内では、明瞭な大きな声を出すことが求められます。		
テキスト Developing Interpreting Skills for Communication 通訳とコミュニケーションの総合演習	著者 齋藤彩子ほか	出版社 南雲堂
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 授業にむけて 2－3. Unit 1 家族 4－5. Unit 2 大学生活 6－7. Unit 3 趣味1 (スポーツ) 8. Review 9－10. Unit 4 趣味2 (映画・音楽・その他) 11－12. Unit 7 日本の文化 13－14. Unit 5 国際交流 実践演習 1 15. Review, Exam		